

令和6年度指定管理者業務評価シート（令和5年度実績）

施設名	羽曳野市立市民体育館・屋外テニスコート
指定管理者名	株式会社 みりのり
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日（2年間）
施設所管課	生涯学習部 スポーツ振興課

①評価の実施方法

下記の評価項目における評価指標ごとに、指定管理者による「1次評価」及び施設所管課による「2次評価」を実施し、その2つの結果をもとに羽曳野市指定管理者選定等委員会（以下「委員会」という。）において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。（評価項目・指標は施設の性格等により、異なる場合または評価の対象としない場合があります。）

②評価基準

1次評価及び2次評価では、指標ごとに2～4段階（a～dでaが最良）の評価を行い、仕様書や自らの提案（業務計画）の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。委員会評価では、1次・2次評価を基に、評価項目ごとに2～4段階（1～4点）で評価を行う。

③指標ごと及び評価項目ごとの評価

No.	評価項目	評価指標	1次	2次	委員会
1	関係法規等の遵守	(1) 法令、条例等に基づき、適切な管理を行っている。 (法令に基づく届出、報告書の提出を含む。)	b	b	3
		(2) 業務に従事する職員は関係法規等の習得が適切に行われている。	b	b	
2	個人情報の保護	(1) 個人情報保護に関する規程が整備されている。	b	b	3
		(2) 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	a	a	
		(3) 職員に対する教育を実施している。	b	b	
3	情報公開	(1) 情報公開に関する規程が整備されている。	b	b	3
		(2) 協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	b	b	
4	施設管理	(1) 条例等に従い、開館日、開館時間を遵守している。	b	b	3
		(2) 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	a	a	
5	維持管理	(1) 仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	b	b	3
		(2) 仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	b	b	
		(3) 協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	b	b	
		(4) 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	b	b	
6	外部委託	(1) 業務の一括委託又は主たる部分の委託は行われていないか。	b	b	3
		(2) 外部委託の内容は事前に市の承認を受けており、適切である。	b	b	
7	管理記録	(1) 文書の管理・保存が適切に行われている。	b	b	3
		(2) 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	b	b	
8	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	b	b	3
9	保険への加入	必要な賠償保険に加入している。	b	b	3
10	経費の執行管理	(1) 専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	a	a	3
		(2) 経費が削減され、またはその節減に向けた努力を行っている。	b	b	
		(3) 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	b	b	
11	利用承認業務	(1) 利用承認、利用料金の徴収、減免等が適切に行われている。	a	a	4
		(2) 利用者の平等利用が確保されている。	a	a	
12	人員体制	(1) 事業計画書に即し、人員を不足なく配置している。	b	b	3
		(2) 事業計画書に即し、就職困難者の採用促進（取組等）が図られている。	b	b	
		(3) 組織の指揮命令系統が明確にされている。	b	b	
		(4) 必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	b	b	
		(5) 計画的に研修等を実施している。	b	b	
13	緊急対応	(1) 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	b	b	3
		(2) 緊急時のマニュアル等が整備され、定期的に訓練を行っている。	b	b	
14	連絡調整	(1) 協定書に従い、各種報告書を市に提出している。	b	b	3
		(2) 市との連絡調整及び連携を適切に行っている。	b	b	
		(3) 地域住民、関係団体等との連絡調整及び連携を適切に行っている。	b	b	

15	利用者対応	(1) 苦情、要望等に対して、迅速かつ適切に対応し、遅滞なく市に報告している。	b	b	3
		(2) 言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	b	b	
		(3) 社会的弱者への配慮がなされている。	b	b	
		(4) 利用者アンケート調査の実施や、利用者等から直接意見、要望を聴く機会を定期的に設けることなどにより利用者ニーズを把握し、その結果を業務の改善等に反映させている。	a	a	
16	サービス・利用の向上	(1) 施設や事業のPRを適切に行っている。	b	b	3
		(2) 事業計画書に基づいた自主事業等が行われている。	b	b	
		(3) 施設の利用促進（利用者の増加等）が図られている。	b	b	
17	団体の財務状況	団体の財務状況は、指定管理者選定時と比較して大きな変化はない。	c	c	2

④評価者コメント

指定管理者	安全・安心に利用して頂ける施設運営を行いました。コロナ禍で減少していた施設の利用もほぼ戻り、昨年度と比較して利用料収入が増加しましたが、物価高騰の影響もあり、厳しい運営となりました。また、施設での修繕については、材料のみを調達し、施設スタッフで修繕を行うなど、経費削減に努めました。
施設所管課	仕様書及び事業計画に基づき、公共スポーツ施設の運営において、概ね適正に行われている。人件費の増加が赤字運営の主な要因となっているが、物価高騰があった中でも光熱水費が令和4年度に比べ減少しており経費圧縮の取り組みが見受けられる。今後も引き続き各種教室や大会といった自主事業等を実施し、住民サービスの向上及び地域ニーズに適応した運営に努められたい。

⑤指定管理者選定等委員会による総合評価

総合評価	委員会評価合計点数	委員会講評
B	51 点	<ul style="list-style-type: none"> ●概ね適正な管理運営が行われており、施設利用者数・事業参加者数も前年度と比較して増加している。今後もリピーターの利用のほか、さらに幅広い市民に利用されるよう、施設管理運営に努められたい。 ●特に人件費において、決算が予算を大きく上回っている。その一因として人員配置が考えられるが、事業計画全体を考慮した上で、原因の解明と対策を講じ、経費の精査を含め収支改善を図るよう努められたい。

<総合評価基準>

総合評価	評価の定義	総合計点(施設ごとの最高得点)に対する委員会評価合計点数の割合
A	優れている	8割以上 (53点以上)
B	適正に管理されている	6割以上8割未満 (40点以上53点未満)
C	一部に改善を要する	4割以上6割未満 (27点以上40点未満)
D	多くに改善を要する	4割未満 (27点未満)